



島根県

地域を守る・伝える絵本作家になろう！

基にしたモデル的なプログラム	力を合わせて絵本作家になろう！
作成団体名	NPO法人中国・地域づくりハウス
地域プログラム化メンバー	大田市立北三瓶小学校、公益財団法人しまね自然と環境財団（島根県立三瓶自然館サヒメル）、環境教育事務所Leaf
実証協力校等	大田市立北三瓶小学校

SDGsの要素	 
ESDの要素	   
能力／態度	   

●プログラムの概要

カルデラを残す火山地形と山麗に牧歌的な草原景観が広がる三瓶山(国立公園)では、近年、温暖化などの環境変化や外来種の繁殖、違法な動植物採取などが問題となり、地域住民が自然環境の保護・保全に取り組んでいます。

このプログラムでは、地域の小学校・博物館・住民団体が協働で、草原の荒廃や盗掘によって激減しているオキナグサ（島根県の絶滅危惧種II類）を栽培・移植して環境再生を図ると共に、絵本づくりを通して地域の自然環境の素晴らしさや保護・保全活動を啓発します。

●プログラムの目標

博物館の学芸員の指導の下、オキナグサの生態や激減している理由を調査し、自分たちの生活や社会活動がオキナグサなどの自然環境に与える影響について理解を深めます。そして、地元の住民団体といっしょにオキナグサの栽培と移植に取り組むことで、自分の身近な環境に対する関心を高めます。環境問題や自然保護に造詣の深い絵本作家といっしょに、環境学習・活動の体験から学んだことや、オキナグサの保護・保全に向けたメッセージを絵本で表現することを通して、人と自然のつながりや関わり方について考え、それを他者とわかちあうきっかけとします。



カルデラについてお話を伺います。



絵本づくりについて指導をいただきました。



自分で絵本づくりにチャレンジ。

●参加者の声

- ・ 絵本作家さんのお話を聞いて、もっと自然を体験していきたいと思いました。
- ・ 自然を大切にしたいと思いました。また、自分の好きなことをするのも大切だと思いました。

●プログラムの流れ

1・2時間目	地域の自然とふれあおう
3～6時間目	オキナグサを育てよう
7・8時間目	シナリオを描こう
9～11時間目	絵本をつくろう
12・13時間目	メッセージを伝えよう